

2011-B					
拠出金・基金の名称:		北米地域青少年交流拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 日米教育委員会(JUSEC)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省北米局北米一課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 米国の青少年を我が国へ招へいし、交流プログラムや被災地視察、復興支援活動体験等を実施するとともに、被災地の青少年を米国に派遣することを通じて、日本再生に関する外国の理解増進を目的とする。米国との間では約2200名の青少年を招聘・派遣。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	1,658,679	-	-	円建て	0
平成22年度	-	-	-	-	-
平成21年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 東日本大震災からの復興のため、青少年交流を通じた日本再生に関する外国の理解増進及び風評被害に対して効果的な情報発信を行うことで日本製品の信頼回復・向上等を図るもの。招へい事業及び派遣事業がある。招へい事業では、米国の高校生・大学生を日本に招へいし、東北地方の被災地の視察、交流プログラム、ボランティア活動等を通じ、青少年やその他の人々との交流を深め、被災地の現状及び復興・再生に向けた活動の現状について正確に理解させ、復興に向けた日本の努力・活力を印象づけた。また、帰国後も本邦滞在時に得た経験等を発表する機会を設け、招へい対象者外への波及効果も目的とした。派遣事業では、被災地の青少年を中心として高校生・大学生を米国へ派遣し、各国の青少年やその他の人々との交流を深めることを通じて、日本の現状を正確に伝え、再生へ向けた日本の努力を印象づけた。以上のプロセスを通じ、日本再生に関する外国の理解を増進し、風評被害に対して効果的な情報発信を行うことにより日本製品の信頼性回復・向上等が図られた。					